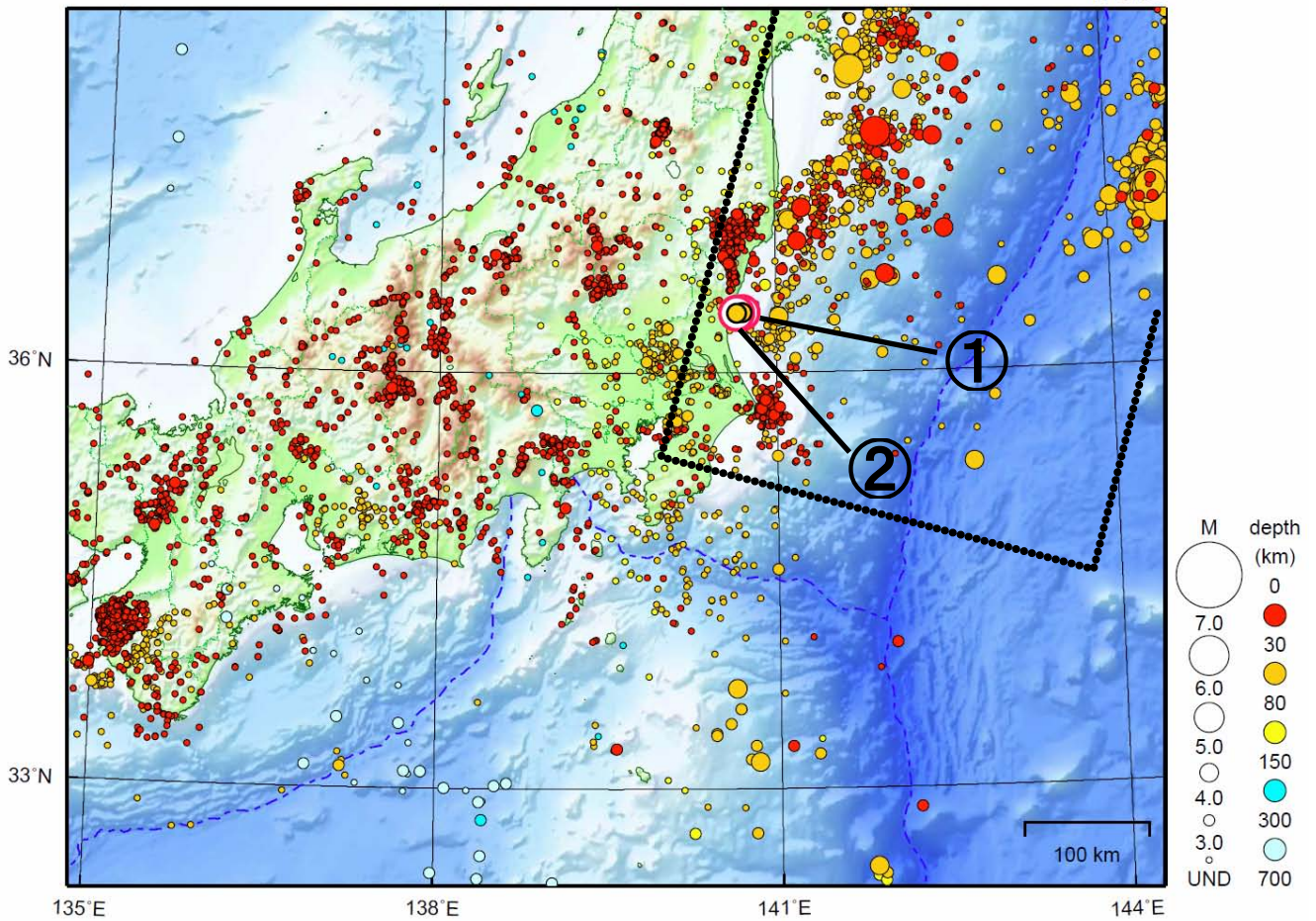


関東・中部地方

2013/10/01 00:00 ~ 2013/10/31 24:00

N=5486



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 10 月 12 日に茨城県沖で M4.8 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 10 月 20 日に茨城県沖で M4.3 の地震（最大震度 4）が発生した。

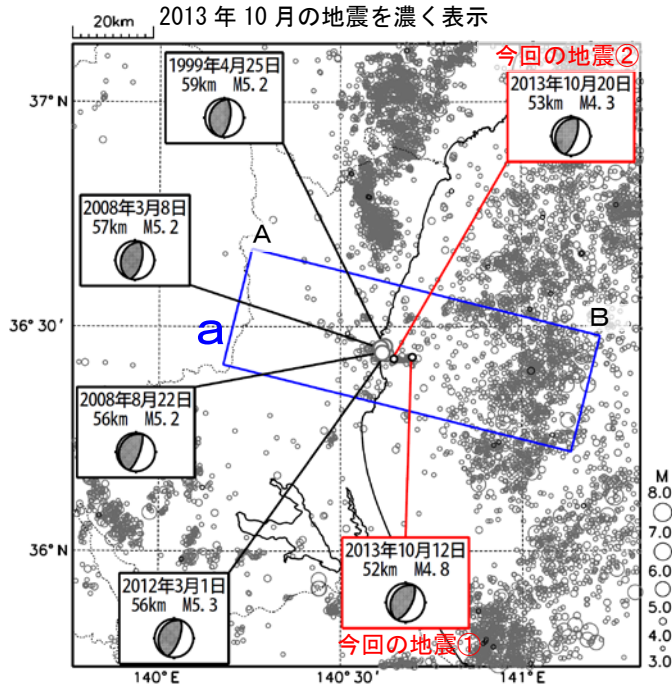
（上記期間外）

- 11 月 3 日に茨城県南部で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。
- 11 月 10 日に茨城県南部で M5.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月12日、20日 茨城県沖の地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2013年10月31日、
深さ0～90km、M≥3.0)
2013年10月の地震を濃く表示

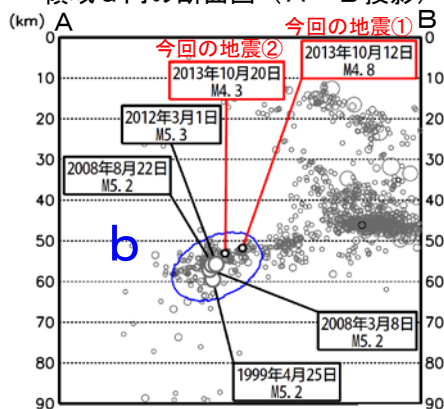


2013年10月12日02時43分と20日10時07分に、茨城県沖のほぼ同じ場所で、それぞれ、深さ52km、M4.8の地震(最大震度4)と、深さ53km、M4.3の地震(最大震度4)が発生した。これらの地震は、ともに発震機構が、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震がしばしば発生しており、2012年3月1日には、M5.3の地震(最大震度5弱)が発生している。

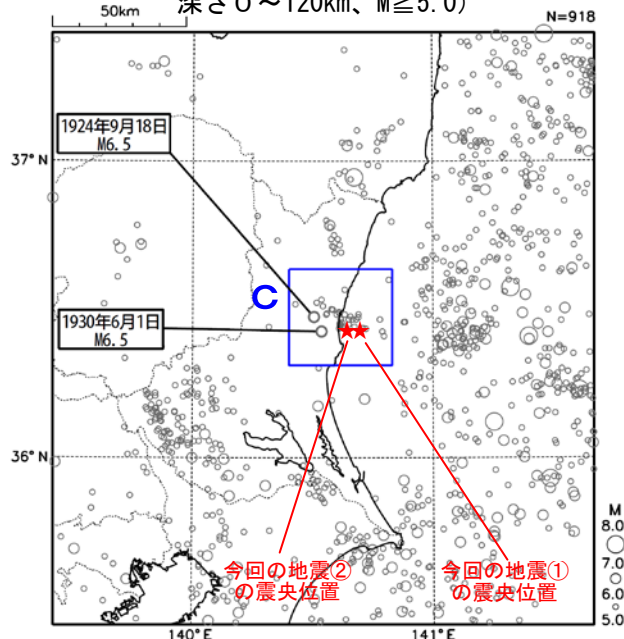
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図(A-B投影)※

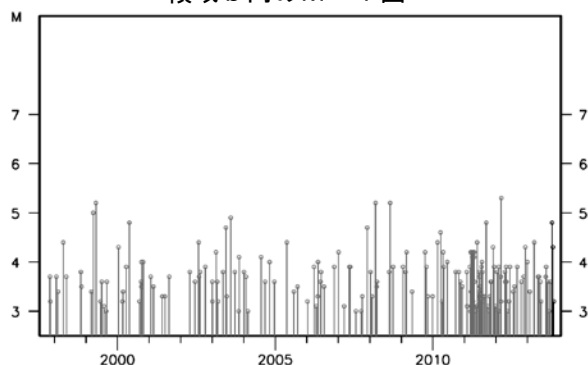


震央分布図

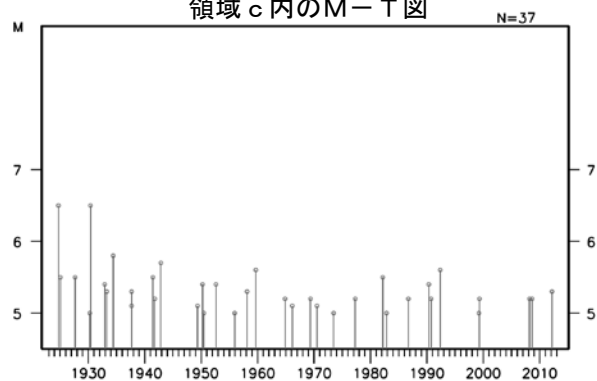
(1923年1月1日～2013年10月31日、
深さ0～120km、M≥5.0)



領域b内のM-T図※



領域c内のM-T図



※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。